

田中裕規 議員レポート

2019年(令和元年) 7月号 No.8

初夏の候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新しい令和の時代が5月より始まりました。平成は災害の時代であったと言われますが、令和は穏やかで安心して暮らせる時代にしていきたいものです。今回は、6月18日～7月2日で開催された令和元年第3回三原市議会定例議会の状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

1. 令和元年度の田中ひろき活動方針

- ◆ 所属会派 新風会
- ◆ 担当委員 経済建設委員会、都市計画審議委員会、議会広報部会
- ◆ 活動方針 **住みやすく 生き生きとした 魅力ある三原をめざします!**
- ◆ 活動目標 **賑わいと交流のある街づくりのための行政への提言と、自ら動き小さな変革を進めて行きます。**
※活動内容は、後援会だよりで報告していきます。



三原市議会議員
田中ひろき

◇ プロフィール

1959年8月9日生
東京農工大学工学部
大学院卒
元帝人(株)社員
家族構成
妻と息子3人

◇ 連絡先

三原市港町三丁目
16番13号
携帯 090-7137-0440
FAX 0848-64-8911

2. 6月定例議会一般質問で問う

6月の定例議会の一般質問では、(1)現在工事中の新図書館周辺の広場と通りの活用体制についてと、(2)人口減少と高齢化や厳しい財政状況の中での将来の地域公共交通を見据えた取組みの必要性について、本市の考えを問いました。

以下に、一般質問の概要を示します。

(1) 新図書館周辺の広場と通りの活用体制について

- 【質問】①図書館、ホテル、商業駐車施設の分棟間に配置の通りと広場の管理は誰が行うのか。
②駅前人が集まり、にぎわいにつながる場所にするのが本来の目的だが、広場と通りの活用は誰が主体となってにぎわい創出を企画し運営するのか。
③現状の(株)まちづくり三原の人員体制では、その役割を果たすのは厳しい。体制の強化をすべきではないか。



(駅前東館跡地 完成イメージ図)

- 【答弁】①通りは管理規約を定め、市や事業者、テナント、指定管理者などで構成する全体管理協議会で管理し、広場は市の所有のため市が行う。
②エリアマネジメント協議会が企画・実施する計画であり、現在協議中である。その中にイベント企画や実施のノウハウを持つ(株)まちづくり三原を参画させる予定である。
③現在の人員体制では十分でないことは認識している。三原商工会議所や(株)まちづくり三原と課題整理を行い、必要な体制等について協議して機能強化を検討する。

※ 駅前東館跡地の開発の目的は、「人が集まり、にぎわいにつながる場所を作る」ことです。新たに作る広場と通りの活用を専属で考え実行する組織が必要であると訴えています。その中心機能を(株)まちづくり三原に持たせていく計画です。

(2) 将来の地域公共交通を見据えた取組みについて

- 【質問】①地方の公共交通は利便性の低下と利用者の減少、運転手不足で維持確保が課題であるが、本市の路線バスの収支率状況はどのようになっているか。また、収支率改善のための取組みは。
- ②福山市では将来の課題を見据え、民間企業と連携協定を結んで自動運転の実証実験を開始している。本市も将来を見据え新しい技術を導入した地域公共交通の検討を始めるべきでは。
- 【答弁】①本市の15バス路線の内、13路線が赤字で補助を行っている。利便性向上ためスマホで待ち時間やバスの位置を把握するシステムの導入、夏休みの小中学生向けワンコインバスの運行等を行っているが状況は厳しい。
- ②本年度策定する第2期地域公共交通網形成計画には、新たな輸送サービスや自動運転技術の実証実験なども加え、本市の将来を見据えた計画を策定する。

※ 地域公共交通は、このままではますます状況が悪化し、市民生活へのサービス低下を招きます。既に危機感を持って自動運転バスなどの基礎データ収集に取り組んでいる自治体が増えている中、三原市は？ **危機感を持って新しい技術導入の検討を始めるよう**訴えました。

3. トピックス

◆ DMC（観光振興会社）の立ち上げについて

前号で今年度より観光情報発信、観光サービスのメニュー化や運営に取組むDMC（観光振興会社）を民間事業者出資で設立し、市は立上げ支援に取組むことになったことを報告しましたが、重要であるデータを収集・分析して地域の観光戦略を立案する組織になりうるのか、本格的に動き出す前に観光課と意見交換をしていきます。

◆ 芸術文化振興財団（仮称）設立に向けての準備

三原市の文化芸術振興施策の目指すべき方向性として、①文化活動の充実と支援、②文化活動の担い手の育成、③ポポロの施設運営の継続的な体制構築を挙げ、これらの具現化の取組みの1つとして芸術文化振興財団（仮称）を設立することになりました。本市の文化活動とポポロ運営をより充実させていく計画です。

4. 活動報告 & お知らせ

(1) 佐木島サバイバルゲーム全国大会開催

5月12日に西日本で珍しいサバイバルゲーム全国大会を佐木島扇浜塩田跡地で開催しました。開催まで大変苦労しましたが、全国から多くのマニアが集まり、若い世代を中心に三原佐木島を広く知ってもらうことができました。



(サバゲー参加者のみなさん)

(2) マリンロードに地元産無農薬新鮮野菜販売店オープン！

昨年7月に立ち上げたペアシティ西館1階空きスペース活用店のBingo・Sun・Marketさんが、マリンロードに常設店を5月30日にオープンしました。地元産の**無農薬新鮮野菜**を月・火・木・金に販売しています。進めていた駅前活性化企画の第1号店ですので、みなさん応援をよろしくお願い致します。



(Bingo Sun Marketの久木元さん)

5. あとがき

昨年の7月6日、豪雨が三原市を襲い、多くの被害と断水で苦しめられました。以後、防災に関する市民の意識は高まっています。本市も、この災害での反省点を洗い出し、迅速な対応や被害の拡大防止のための対応策についてこの1年間検討を進め、災害に強い自治体へすべく動いています。しかし、いざとなった時の判断は個々人です。日頃より避難場所の確認と持ち出し品の準備、そしてどうなったらどう行動するのかをご家族と一緒に考えておきましょう。

<市民のみなさまからのご意見・ご要望をお待ちしています!!>

- 駅前の賑わい創生のためのアイデアについて
 - いま困っていること
 - 三原の将来について、してほしいこと
 - 行政や関係団体などの課題について
- 等

【連絡先】 E-mail : h-tanaka1@gm.tp1.jp
携帯電話 090-7137-0440